

近畿厚生局長 殿

地方独立行政法人大阪府立病院機構  
理事長 高杉 豊

大阪府立成人病センター病院の業務に関する報告について

標記について、医療法(昭和23年法律第205号)第12条の3の規定に基づき、平成22年度の業務に関して報告します。

記

- 1 高度の医療の提供の実績 → 別紙参照(様式第10)
- 2 高度の医療技術の開発及び評価の実績 → 別紙参照(様式第11)
- 3 高度の医療に関する研修の実績

研修医の人数	47人
--------	-----

(注) 前年度の研修医の実数を記入すること。

- 4 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の体系的な管理方法 → 別紙参照(様式第12)
- 5 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法及び閲覧の実績
- 6 他の病院又は診療所から紹介された患者に対する医療提供の実績 → 別紙参照(様式第13)
- 7 医師、歯科医師、薬剤師、看護師及び准看護師、管理栄養士その他の従業者の員数

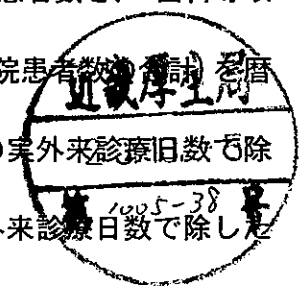
職種	常勤	非常勤	合計	職種	員数	職種	員数
医師	114人	72人	164.6人	看護補助者	31人	診療エックス線技師	人
歯科医師	人	3人	2.2人	理学療法士	3人	臨床検査技師	59人
薬剤師	23人	8人	27.6人	作業療法士	人	臨床衛生検査技師	4人
保健師	2人	人	2.0人	視能訓練士	人	その他	人
助産師	人	人	人	義肢装具士	人	あん摩マッサージ指圧	人
看護師	442人	11人	449.7人	臨床工学技士	4人	医療社会事業従事者	4人
准看護師	5人	4人	8.3人	栄養士	人	その他の技術員	3人
歯科衛生士	人	人	人	歯科技工士	人	事務職員	122人
管理栄養士	2人	2人	3.4人	診療放射線技師	37人	その他の職員	106人

- (注) 1 報告を行う当該年度の10月1日現在の員数を記入すること。  
 2 栄養士の員数には、管理栄養士の員数は含めないで記入すること。  
 3 「合計」欄には、非常勤の者を当該病院の常勤の従事者の通常の勤務時間により常勤換算した員数と常勤の者の員数の合計を小数点以下2位を切り捨て、小数点以下1位まで算出して記入すること。それ以外の欄には、それぞれの員数の単純合計員数を記入すること。

8 入院患者、外来患者及び調剤の数  
 歯科、矯正歯科及び小児歯科の入院患者及び外来患者の数

	歯科等以外	歯科等	合計
1日当たり平均入院患者数	415.3人	人	415.3人
1日当たり平均外来患者数	1,032.6人	人	1,032.6人
1日当たり平均調剤数	入院 578.5剤	外来 86.50剤	

- (注) 1 「歯科等」欄には、歯科、矯正歯科、小児歯科及び口腔外科を受診した患者数を、「歯科等以外」欄にはそれ以外の診療科を受診した患者数を記入すること。  
 2 入院患者数は、年間の各科別の入院患者数延数(毎日の24時現在の在院患者数を1日あたりで除した数)を記入すること。  
 3 外来患者数は、年間の各科別の外来患者延数をそれぞれ病院の年間の実外来診療日数で除した数を記入すること。  
 4 調剤数は、年間の入院及び外来別の調剤延数をそれぞれ暦日及び実外来診療日数で除した数を記入すること。



(様式第10)

高度の医療の提供の実績

1 承認を受けている先進医療の種類(注1)及び取扱患者数

先進医療の種類	取扱患者数
抗悪性腫瘍剤感受性検査(HDRA法又はCD-DST法)	90人
内視鏡的大腸粘膜下層剥離術(H21.10～)	96人
超音波骨折治療法	0人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人

(注1) 「先進医療の種類」欄には、厚生労働大臣の定める先進医療及び施設基準(平成二十年厚生労働省告示第二百二十九号)第二各号に掲げる先進医療について記入すること。

(注2) 「取扱患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

(様式第10)

### 高度の医療の提供の実績

#### 2 承認を受けている先進医療の種類(注1)及び取扱患者数

先進医療の種類	取扱患者数
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人

(注1) 「先進医療の種類」欄には、厚生労働大臣の定める先進医療及び施設基準(平成二十年厚生労働省告示第百二十九号)第三各号に掲げる先進医療について記入すること。

(注2) 「取扱患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

高度の医療の提供の実績

3 その他の高度の医療

医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			

(注) 当該医療機関において高度の医療と判断するものが他にあれば、前年度の実績を記入すること。

## 高度の医療の提供の実績

## 4 特定疾患治療研究事業対象疾患についての診療

疾患名	取扱患者数	疾患名	取扱患者数
・ベーチェット病		・膿疱性乾癬	
・多発性硬化症	8人	・広範脊柱管狭窄症	3人
・重症筋無力症	16人	・原発性胆汁性肝硬変	15人
・全身性エリテマトーデス		・重症急性膵炎	
・スモン		・特発性大腿骨頭壊死症	
・再生不良性貧血	21人	・混合性結合組織病	1人
・サルコイドーシス	2人	・原発性免疫不全症候群	
・筋萎縮性側索硬化症		・特発性間質性肺炎	
・強皮症, 皮膚筋炎及び多発性筋炎	4人	・網膜色素変性症	4人
・特発性血小板減少性紫斑病	34人	・プリオン病	
・結節性動脈周囲炎		・肺動脈性肺高血圧症	
・潰瘍性大腸炎	14人	・神経線維腫症	2人
・大動脈炎症候群	5人	・亜急性硬化性全脳炎	
・ビュルガー病	1人	・バッド・キアリ(Budd-Chiari)症候群	1人
・天疱瘡		・慢性血栓塞栓性肺高血圧症	
・脊髄小脳変性症	14人	・ライソゾーム病	
・クローン病		・副腎白質ジストロフィー	
・難治性の肝炎のうち劇症肝炎		・家族性高コレステロール血症(ホモ接合体)	
・悪性関節リウマチ		・脊髄性筋萎縮症	
・パーキンソン病関連疾患(進行性核上性麻痺、大脳皮質基底核変性症及びパーキンソン病)	18人	・球脊髄性筋萎縮症	
・アミロイドーシス	3人	・慢性炎症性脱髄性多発神経炎	
・後縦靭帯骨化症	9人	・肥大型心筋症	27人
・ハンチントン病		・拘束型心筋症	1人
・モヤモヤ病(ウィリス動脈輪閉塞症)	3人	・ミトコンドリア病	
・ウェゲナー肉芽腫症		・リンパ脈管筋腫症(LAM)	
・特発性拡張型(うっ血型)心筋症	39人	・重症多形滲出性紅斑(急性期)	
・多系統萎縮症(線条体黒質変性症、オリブ橋小脳萎縮症及びシャイ・ドレーガー症候群)		・黄色靭帯骨化症	
・表皮水疱症(接合部型及び栄養障害型)		・間脳下垂体機能障害 (PRL分泌異常症、ゴナドトロピン分泌異常症、ADH分泌異常症、下垂体性TSH分泌異常症、クッシング病、先端巨大症、下垂体機能低下症)	2人

(注) 「取扱患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

### 高度の医療の提供の実績

#### 5 健康保険法の規定による療養に要する費用の額の算定方法に先進医療から採り入れられた医療技術

施設基準等の種類	施設基準等の種類
・乳がんにおけるセンチネルリンパ節の同定と転移の検索	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・

(注)「施設基準等の種類」欄には、業務報告を行う3年前の4月以降に、健康保険法の規定による療養に要する費用の額の算定方法(平成六年厚生省告示第五十四号)に先進医療(当該病院において提供していたものに限る。)から採り入れられた医療技術について記入すること。

#### 6 病理・臨床検査部門の概要

臨床検査及び病理診断を実施する部門の状況	①. 臨床検査部門と病理診断部門は別々である。 2. 臨床検査部門と病理診断部門は同一部門にまとめられている。
臨床部門が病理診断部門或いは臨床検査部門と開催した症例検討会の開催頻度	10回
部 検 の 状 況	部検症例数      28例      /      部検率              20.44%

## 高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

### 1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
地域がん登録資料のがん対策およびがん研究への活用に関する研究	井岡 亜希子	がん予防情報C企画調査課	21,370	補委 厚生労働省
がん情報ネットワークを利用した総合的がん対策支援とその評価の具体的方法に関する研究	津熊 秀明	がん予防情報センター	1,500	補委 厚生労働省
中・下咽頭がんの標準的な診断、治療法に関する研究	吉野 邦俊	耳鼻咽喉科	1,200	補委 厚生労働省
頭頸部がん治療の標準化に関する研究	吉野 邦俊	耳鼻咽喉科	800	補委 厚生労働省
日本人女性における乳がん罹患リスクに基づいた効果的な乳がん検診システムの確立に関する研究	菰池 佳史	乳腺・内分泌外科	11,160	補委 厚生労働省
骨転移の標準的治療指針の確立と稀少軟部肉腫治療法の開発	荒木 信人	整形外科	1,000	補委 厚生労働省
CT上、すりガラス様陰影を示す肺がんの自然史からみた取り扱い基準に関する研究	児玉 憲	副院長	1,200	補委 厚生労働省
がん専門医療施設における臨床教育体制の整備とその評価法に関する共同研究	西山 謹司	診療局長兼放射線治療科	800	補委 厚生労働省
大腸がんに対する外科的診療手技の標準化を目指した合意形成のための研究	大植 雅之	消化器外科	800	補委 厚生労働省
地域がん専門診療施設のソフト面の整備拡充に関する研究	淡田 修久	副院長	1,000	補委 厚生労働省
術前化学療法後の乳房温存療法	稲治 英生	乳腺・内分泌外科	1,100	補委 厚生労働省
進行肺癌に対する化学療法	今村 文生	呼吸器内科	800	補委 厚生労働省
末梢小型非小細胞肺癌に対する縮小手術の有用性を検証する研究	東山 聖彦	呼吸器外科	1,000	補委 厚生労働省
化学療法施設後センチネルリンパ節生検の病理学的検索方法の検討	元村 和由	乳腺・内分泌外科	0	補委 厚生労働省
進行肝胆膵がんの治療法の開発に関する研究	井岡 達也	検診部消化器検診科	0	補委 厚生労働省
BCG-CWSを用いたアジュバンドの開発	井上 徳光	研究所分子遺伝学部門	1,200	補委 厚生労働省
任意型がん検診における膵がん早期診断のあり方に関する研究	田中 幸子	検診部消化器検診科	1,000	補委 厚生労働省
高悪性度骨軟部腫瘍に対する標準的治療確立のための研究	荒木 信人	整形外科	550	補委 厚生労働省

小計  
18

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
咽喉頭がんのリンパ節転移に対する標準的治療法の確立に関する研究	藤井 隆	耳鼻咽喉科	800	補 厚生労働省委
バルデー・ビードル症候群実態把握のための奨励研究	石原 立	消化管内科	1,000	補 厚生労働省委
治癒切除不能進行胃癌に対する減量手術の意義に関する研究	宮代 勲	消化器外科	1,000	補 厚生労働省委
早期消化管がんに対する内視鏡的治療の安全性と有効性の評価に関する研究-粘膜下層浸潤臨床病期Ⅰ(T1N0M0)食道がんに対するEMR/化学放射線療法併用療法の有効性に関する第Ⅱ相試験:JCOG0508	飯石 浩康	診療局長	500	補 厚生労働省委
早期胃がん内視鏡切除症例のWebを用いたがん登録システムによる前向きがん登録に関する研究	飯石 浩康	診療局長	200	補 厚生労働省委
早期前立腺がんにおける根治術後の再発に対する標準的治療法の確立に関する研究	宇佐美 道之	泌尿器科	200	補 厚生労働省委
限局型小細胞肺癌に対する新たな標準的治療の確立に関する研究	今村 文生	呼吸器内科	400	補 厚生労働省委
再発小細胞肺癌に対する標準的治療法の確立に関する研究	今村 文生	呼吸器内科	1,000	補 厚生労働省委
国内外科手術成績を基準とした経口抗がん剤による治癒切除大腸癌術後補助治療の確立	大植 雅之	消化器外科	1,000	補 厚生労働省委
臨床病期Ⅱ・Ⅲの下部直腸がんに対する側方リンパ節郭清術の意義に関するランダム化比較試験	大植 雅之	消化器外科	1,200	補 厚生労働省委
切除不能胆道がんに対する治療法の確立に関する研究	井岡 達也	検診部消化器検診科	400	補 厚生労働省委
高精度治療技術による低リスク高線量放射線治療に関する臨床研究	西山 謹司	診療局長兼放射線治療科	200	補 厚生労働省委
放射線治療期間の短縮による治療法の有効性と安全性に関する研究	西山 謹司	診療局長兼放射線治療科	900	補 厚生労働省委
初発肝細胞癌に対する肝切除とラジオ波焼灼療法の有効性に関する多施設共同研究	山田 晃正	消化器外科	200	補 厚生労働省委
センチネルリンパ節理論による頭頸部癌微小転移の解明と個別的治疗法の開発	上村 裕和	耳鼻咽喉科	800	補 厚生労働省委
標準的検診法と精度管理に係わる新たなシステムなどの開発に関する研究	中山 富雄	がん予防情報C疫学予防課	500	補 厚生労働省委
発がんリスクの低減に資する効果的な禁煙推進のための環境設備と支援方策の開発ならびに普及のための制度化に関する研究	中山 富雄	がん予防情報C疫学予防課	2,000	補 厚生労働省委
がん罹患・死亡動向の実態把握に関する研究	井岡 亜希子	がん予防情報C企画調査課	1,100	補 厚生労働省委
がん検診に有用な新しい腫瘍マーカーの開発	井岡 達也	検診部消化器検診科	2,000	補 厚生労働省委

小計  
19



研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
院内がん登録の標準化と普及に関する研究	津熊 秀明	がん予防情報センター	550	補 厚生労働省委
日中両国を含む東アジア諸国におけるがん対策の質向上と標準化を目指した調査研究	田中 政宏	がん予防情報C企画調査課	1,800	補 厚生労働省委
日中間におけるがんの予防・検診・診断・治療の向上のための調査研究	田中 政宏	がん予防情報C企画調査課	2,200	補 厚生労働省委
疾患関連創薬バイオマーカー探索研究	加藤 菊也	研究所免疫学部門	5,000	補 厚生労働省委
肺癌移植マウスを用いた遺伝子発現プロファイル解析による分子標的薬の皮膚毒性に関する解析	谷口 一也	研究所免疫学部門	5,000	補 厚生労働省委
肺癌移植マウスを用いた遺伝子発現プロファイル解析による分子標的薬の皮膚毒性に関する解析	岡見 次郎	呼吸器外科	0	補 厚生労働省委
肝発癌抑制を視野に入れた肝硬変の栄養療法のガイドライン作成を目指した総合的研究	片山 和宏	肝胆膵内科	500	補 厚生労働省委
未分化型早期胃癌に対する内視鏡切除の有効性および安全性に関する多施設協働研究	飯石 浩康	診療局長	1,000	補 厚生労働省委
食道がん化学放射線療法後局所再発再発例に対するタラボルフィリンナトリウム（レザフィリン）及び半導体レーザー（PDレーザー）を用いた光線力学療法の実証的試験 Ⅰ/Ⅱ相試験 医薬品や医療機器のうち、諸外国では標準的な治療法として用いられていながら我が国では実用化されていない治療法等のエビデンスの確立に係る臨床研究の計画に関する研究	飯石 浩康	診療局長	5,000	補 厚生労働省委
既存総計資料に基づくがん対策進捗の評価手法に関する実証的研究	津熊 秀明	がん予防情報センター	11,250	補 厚生労働省委
既存総計資料に基づくがん対策進捗の評価手法に関する実証的研究	井岡 亜希子	がん予防情報C企画調査課	1,500	補 厚生労働省委
既存総計資料に基づくがん対策進捗の評価手法に関する実証的研究	田中政宏	がん予防情報C企画調査課	1,500	補 厚生労働省委
既存総計資料に基づくがん対策進捗の評価手法に関する実証的研究	伊藤（太田）ゆり	がん予防情報C企画調査課	1,000	補 厚生労働省委
遺伝子発見プロファイルによる神経膠腫悪性度診断法の実証的試験	丸野 元彦	脳神経外科	100	補 厚生労働省委
遺伝子発見プロファイルによる神経膠腫悪性度診断法の実証的試験	加藤 菊也	研究所長	5,650	補 厚生労働省委
小児がん罹患数把握および晩期合併症・二次がんの実態把握のための長期フォローアップセンター構築に関する研究	井岡亜希子	がん予防情報C企画調査課	3,000	補 厚生労働省委
早期前立腺がんにおける根治術後の再発に対する標準的治療法の確立に関する研究	西村 和郎	泌尿器科	200	補 厚生労働省委
高悪性度筋層非浸潤がんに対する経尿道的膀胱腫瘍切除後の治療方針の確立に関する研究	西村 和郎	泌尿器科	250	補 厚生労働省委

小計  
18

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
低線量らせんCTを用いた革新的な肺がん検診手法の確立に関する研究	中山 富雄	がん予防情報C疫学予防課	14,500	補委 厚生労働省
HVJ-E感受性機構解明	加藤 菊也	研究所長	19,000	補委 厚生労働省
癌細胞の擬似的微生物の化ツールの開発とワクチンへの応用	赤澤 隆	研究所分子遺伝学部門	9,360	補委 文部科学省
がん浸潤転移における細胞間接着分子とシグナル伝達の役割	三好 淳	研究所分子生物学部門	7,410	補委 文部科学省
ハプロイドDNAを用いた日本人ゲノム多様性情報基盤の高度化	久木田 洋児	研究所免疫学部門	4,810	補委 文部科学省
肉腫幹細胞の性状解析とiPS工学を応用した幹細胞標的医薬の開発	高橋 克仁	研究所病態生理学部門	7,540	補委 文部科学省
iPS工学を応用した肉腫標的医薬の開発	山村 倫子	研究所病態生理学部門	910	補委 文部科学省
骨・軟部腫瘍の転移に対するSSXを標的とした治療法の開発	吉岡 潔子	研究所生物学部門	1,040	補委 文部科学省
VEGF阻害が浸潤形質を誘導する分子メカニズムの解明	井上 正宏	研究所生化学部門	1,560	補委 文部科学省
転写因子ELF2の作用解析と予後因子としての有効性の検討	富田 裕彦	病理・細胞診断科	1,560	補委 文部科学省
がん患者の治癒割合の推定	伊藤(太田) ゆり	がん予防情報C疫学予防課	1,638	補委 文部科学省
前率線癌におけるニッチ細胞の同定および癌幹細胞支持機構の解明	中山 雅志	泌尿器科	1,100	補委 文部科学省
HVB持続発現小動物モデルを用いたHVB複製機構ならびにHVB変異誘発機構の解明	大川 和良	肝胆膵内科	1,430	補委 文部科学省
新しい癌細胞初代培養系(CTOS法)を用いた放射線感受性試験の確立	遠藤 洋子	研究所生化学部門	1,300	補委 文部科学省
MORC3によるPMLボディ機能の調節機構	井上 徳光	研究所分子遺伝学部門	1,300	補委 文部科学省
生化学的創薬戦略による人工アジュバンドの開発	赤澤 隆	研究所分子遺伝学部門	1,560	補委 文部科学省
遺伝子治療を併用した樹状細胞による新規癌免疫治療法の研究	赤澤 隆	研究所分子遺伝学部門	65	補委 文部科学省
細胞接着とシグナル伝達による細胞の形態形成機構	岡本 三紀	研究所分子遺伝学部門	9,100	補委 文部科学省
				補委

小計  
18計  
73

o/r

研 究 課 題 名	研究者氏名	所属部門	金 額	補助元又は委託元
-----------	-------	------	-----	----------

- (注) 1 国、地方公共団体又は公益法人から補助金の交付又は委託を受け、当該医療機関に所属する医師等が申請の前年度に行った研究のうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること。
- 2 「研究者氏名」欄は、1つの研究について研究者が複数いる場合には、主たる研究者の氏名を記入すること。
- 3 「補助元又は委託元」欄は、補助の場合は「補」に、委託の場合は「委」に、○印をつけた上で、補助元又は委託元を記入すること。

## 高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

## 2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Gastrointest Endosc. 2010 Aug;72(2):444-448. Epub 2010 Jun 11.	Endoscopic Doppler ultrasound for prevention of ulcer bleeding after endoscopic submucosal dissection for early gastric cancer: a preliminary study	Uedo N	消化管内科
Dig Endosc. 2010 Jul;22 Suppl 1:S15-8.	Retrospective multicenter study concerning electrocautery forceps with soft coagulation for nonmalignant gastroduodenal ulcer bleeding in Japan.	Uedo N	消化管内科
Dig Endosc. 2010 Jul;22 Suppl 1:S9-14.	Current managements and outcomes of peptic and artificial ulcer bleeding in Japan.	Uedo N	消化管内科
Rev Col Gastroenterol, Set 2010, vol. 25, no. 3, p. 321-324.	Propuesta de entrenamiento en seis etapas para disección endoscópica submucosa utilizando modelos animales.	Uedo N	消化管内科
J Gastroenterol Hepatol. 2010 Oct 18. doi: 10.1111/j.1440-1746.2010.06527.x	Topographic differences in gastric micromucosal patterns observed by magnifying endoscopy with narrow band imaging	Uedo N	消化管内科
Gastrointest Endosc. 2011 Feb 24. [Epub ahead of print]	Anti-peristaltic effect and safety of l-menthol sprayed onto gastric mucosa for upper gastrointestinal endoscopy: a phase III, multicentre, randomised, double-blind, placebo-controlled study	Uedo N	消化管内科
J Gastroenterol Hepatol. 2010 Dec;25(12):1844-9.	Autofluorescence imaging for predicting development of metachronous gastric cancer after Helicobacter pylori eradication. J Gastroenterol Hepatol.	Hanaoka N	消化管内科
Endoscopy. 2010 Dec;42(12):1112-5.	Clinical features and outcomes of delayed perforation after endoscopic submucosal dissection for early gastric cancer: a case series.	Hanaoka N	消化管内科
Biochem Biophys Res Comm 394:574-580:2010.	Alterations in hepatitis B virus nucleotide sequences in a chronic virus carrier from immunotolerant to immunoactive phase.	Ohkawa K	肝胆膵内科
J Viral Hepat 17:488-492:2010.	Splenectomy and antiviral treatment for thrombocytopenic patients with chronic hepatitis C virus infection.	Ikezawa K	肝胆膵内科

小計

10

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
J Hepatol 54:604-611, 2011.	Indications and limitations for aged patients with chronic hepatitis C in pegylated interferon alfa-2b plus ribavirin combination therapy.	Katayama K	肝胆膵内科
Hepatol Res 40:930-936:2010.	Improved diagnosis of well-differentiated hepatocellular carcinoma with gadolinium ethoxybenzyl diethylene triamine pentaacetic acid-enhanced magnetic resonance imaging and Sonazoid-enhanced ultrasonography.	Kawada N	肝胆膵内科
Clin J Gastroenterol 3:337-342:2010.	Prior splenic irradiation reduces hematologic adverse events during chemotherapy in pancreatic tail cancer: a report of a patient with liver cirrhosis.	Ohkawa K	肝胆膵内科
Clin J Gastroenterol 4:135-139:2011.	Asymptomatic curable pancreatic ductal carcinoma detected during the follow-up of pancreatic cysts distinct from carcinoma.	Kawada N	肝胆膵内科
Pancreas 39:653-657, 2010.	A natural course of main duct intraductal papillary mucinous neoplasm of the pancreas with lower likelihood of malignancy.	Uehara H	肝胆膵内科
J Clin Oncol 28:3739-45, 2010.	Phase III study comparing second- and third-generation regimens with concurrent thoracic radiotherapy in patients with unresectable stage III non-small-cell lung cancer: West Japan Thoracic Oncology Group WJTOG0105.	Imamura F	呼吸器内科
J Thorac Oncol 5:1075-1080, 2010.	Phase II study of sequential triplet chemotherapy, irinotecan and cisplatin followed by amrubicin, in patients with extensive-stage small cell lung cancer: West Japan Thoracic Oncology Group Study 0301.	Imamura F	呼吸器内科
Chemotherapy 56(1):39-45, 2010.	A phase II study directed by a clinical pathway for carboplatin and weekly paclitaxel in previously untreated patients with unresectable non-small cell lung cancer.	Imamura F	呼吸器内科
J Surg Oncol. 10:582-587 (2010)	Significance of the Resection of Ovarian Metastasis From Colorectal Cancers.	Fujiwara A	消化器外科
Ann Surg Oncol. 18:396-404 (2011)	Effects of Intraperitoneal Chemotherapy with Mitomycin C on the Prevention of Peritoneal Recurrence in Colorectal Cancer Patients with Positive Peritoneal Lavage Cytology Findings.	Noura S	消化器外科

小計

10

雑 誌 名	題 名	発 表 者 氏 名	所 属 部 門
Glycobiology. 20(12):1594-1606(2010)	Novel ganglioside found in adenocarcinoma cells of Lewis-negative patients.	Noura S	消化器外科
Int J Colorectal Dis. (2010)	A retrospective study of 329 patients from Japanese cancer centers.	Ohue M	消化器外科
Colorectal Dis. (2010)	The indications for a diverting stoma in low anterior resection for rectal cancer : a prospective multicentre study of 222 patients from Japanese cancer.	Ohue M	消化器外科
Hepatogastroenterology. 57(10):764-767(2010)	Long-Term Complete Response of Unresectable Liver Metastases from Colorectal Cancer.	Tanida T	消化器外科
Int J Colorectal Dis. 25(6):681-686(2010)	Multi-institutional study of risk factors of liver metastasis from colorectal cancer : correlation with CD10 expression.	Ohue M	消化器外科
International Journal of Oncology 37: 1113-1120(2010)	Prediction of the response to chemotherapy in advanced esophageal cancer by gene expression profiling of biopsy samples	Motoori M	消化器外科
Ann Surg Oncol. (2010)	Extent of Gastric Resection Impacts Patient Quality of Life: The Dysfunction after Upper Gastrointestinal Surgery for Cancer (DAUG32) Scoring System	Yano M	消化器外科
World journal of Gastrointestinal Surgery. 2(9):295-298(2010)	Successful embolization assisted by covered stents for a pseudoaneurysm following pancreatic surgery	Tanaka K	消化器外科
Ann Surg Oncol. 17:2779-2786. (2010)	CEA-Antigen and SCC-Antigen mRNA Expression in Peripheral Blood Predict Hematogenous Recurrence After Resection in Patients with Esophageal Cancer	Tanaka K	消化器外科
J Med Case Reports. 2010 Nov 26;4:382.	Liver metastasis originating from colorectal cancer with macroscopic portal vein tumor thrombosis: a case report and review of the literature.	Tomimaru Y	消化器外科
Int J Colorectal Dis. 2011 Jan 26(1):79-87	Diverting stoma in rectal cancer surgery. A retrospective study of 329 patients from Japanese cancer centers.	Ohue M	消化器外科

小計

11

雑 誌 名	題 名	発 表 者 氏 名	所 属 部 門
Interactive Cardiovascular and Thoracic Surgery. 10 (6) 1009-14 (2010)	Clinical value of F18-fluorodeoxyglucose emission tomography-computed tomography in patients with non-small cell lung cancer after potentially curative surgery :experience with 241 patients	Kanzaki R	呼吸器外科
Eur J Cardiothorac Surg 39 :167-72 (2011)	Long-term results of surgical resection for pulmonary metastasis from renal cell carcinoma: a 25-year single-institution experience.	Kanzaki R	呼吸器外科
Interactive Cardiovascular and Thoracic Surgery. 11: 60-64 (2010)	Outcome of surgical resection of pulmonary metastasis from urinary tract transitional cell carcinoma.	Kanzaki R	呼吸器外科
Lung Cancer 71:333-337 (2011)	Occult mediastinal lymph node metastasis in NSCLC patients diagnosed as clinical NO-1 by preoperative integrated FDG-PET/CT and CT: Risk factors, pattern, and histopathological study	Kanzaki R	呼吸器外科
The annals of Thoracic Surgery. 2010 (90) 1651-1656 (2010)	Sublobar resection provides an equivalent survival after lobectomy in elderly patients with early lung cancer	Okami J	呼吸器外科
Lung Cancer. 68:472-477 (2010)	Prediction of chemotherapeutic effect on postoperative recurrence by in vitro anticancer drug sensitivity testing in non-small cell lung cancer patients	Higashiyama M	呼吸器外科
Journal of Thoracic Oncology. 4:1247-1253 (2009)	Pulmonary resection in patients aged 80 years or over with clinical stage I non-small cell lung cancer, prognostic factors for overall survival and risk factors for postoperative complications	Okami J	呼吸器外科
BMC Cancer. 22 (10) :690 (2010)	Possibility of multivariate function composed of plasma amino acid profiles as a novel screening index for non-small cell lung cancer : a case control study.	Maeda J	呼吸器外科
Cancer Sci 101 (7) :1596-603 (2010)	Adjuvant engineering for cancer immunotherapy : Development of a synthetic TLR2 ligand with increased cell adhesion.	Kodama K	呼吸器外科
J Thorac Cardiovasc Surg. 139:1441-6 (2010)	Impact of positive pleural lavage cytology on survival in patients having lung resection for non-small cell lung cancer : An international individual patients data meta-analysis	Higashiyama M	呼吸器外科

小計

10

雑 誌 名	題 名	発 表 者 氏 名	所 属 部 門
Oncology 78:302-308, 2010	Phase 2 trial in Japan of sequential administration of weekly paclitaxel followed by FEC as neoadjuvant chemotherapy for locally advanced breast cancer [KBCSG0206 trial: Kinki Breast Cancer Study Group (KBCSG)]	Motomura K	乳腺・内分泌外科
PLoS One 5 (6) :11404, 2010	Br1CC1 activates RB1 pathway and inhibits proliferation and cologenic survival in human cancer.	Inaji H	乳腺・内分泌外科
Breast J 16:320-321, 2010	Ectopic breast cancer located in the anterior chest wall.	Ishitobi M	乳腺・内分泌外科
Jpn J Clin Oncol. 40:508-12, 2010.	Clinical utility of the 70-gene MammaPrint profile in a Japanese population.	Ishitobi M	乳腺・内分泌外科
Oncology. 78:213-9, 2010.	Prognostic significance of neutropenia on day one of anthracycline-based neoadjuvant chemotherapy in operable breast cancer.	Ishitobi M	乳腺・内分泌外科
Anticancer Res. 31:367-71, 2011.	Risk of Ipsilateral breast tumor recurrence in patients treated with Tamoxifen or Anastrozole following breast-conserving surgery with or without radiotherapy.	Ishitobi M	乳腺・内分泌外科
Oncology, 79 (1-2), 55-61, 2010.	Expression of estrogen receptor beta and phosphorylation of estrogen receptor alpha serine 167 correlate with progression-free survival in patients with metastatic breast cancer treated with aromatase inhibitors.	Motomura K	乳腺・内分泌外科
Ann Nucl Med. 25 (3) :221-6, 2011.	Predicting sentinel lymph node metastasis in breast cancer with lymphoscintigraphy.	Motomura K	乳腺・内分泌外科
Oncol Rep, 24: 299-304, 2010	Recommendations for adequate evaluation of hormone receptors' a report of the task force of the Japanese Breast Cancer Society	Komoike Y	乳腺・内分泌外科
Anticancer Res. 30 (6) :2247-54. 2010	A clear correlation between WT1-specific Th response and clinical response in WT1 CTL epitope vaccination.	Maruno M	脳神経外科

小計

10



雑 誌 名	題 名	発 表 者 氏 名	所 属 部 門
Ann Vasc Surg. 20 (2) :266	Extracorporeally Irradiated Autograft-prosthetic Composite Arthroplasty with Vascular Reconstruction for Primary Bone Tumor of the Proximal Tibia.	Emori M	整形外科
Foot 2010 Jun-Sep;20 (2-3) :90-5.	Limb salvage operation using intraoperative extracorporeal autogenous irradiated bone and tendon graft for myxoid liposarcoma on dorsum of foot.	Ozaki R	整形外科
Stem Cells. 2010 Jul;28 (7) :1119-31.	Synovial sarcoma is a stem cell malignancy	Naka N	整形外科
Ann Vasc Surg. 2010 Oct;24 (7) :951	Soft-tissue sarcomas in the inguinal region may present as deep vein thrombosis	Emori M	整形外科
J Vasc Surg. 2010 Apr;51 (4) :1010-3.	Ruptured brachial artery aneurysm in a patient with type 1 neurofibromatosis.	Emori M	整形外科
Int J Oncol. 2010 Apr;36 (4) :823-31	Downregulation of SS18-SSX1 expression in synovial sarcoma by small interfering RNA enhances the focal adhesion pathway and inhibits anchorage-independent growth in vitro and tumor growth in vivo.	Naka N	整形外科
Ann Surg Oncol 17 (4) 1111-1117 2010. 4	Endometrial carcinoma with extra-abdominal metastasis: improved prognosis following cytoreductive surgery.	Miyatake T	婦人科
Gynecol Obstet Invest 69 (4) 224-232 2010	Concurrent Weekly Nedaplatin, External Beam Radiotherapy and High-Dose-Rate Brachytherapy in Patients with FIGO Stage IIb Cervical Cancer: A Comparison with a Cohort Treated by Radiotherapy Alone.	Yoshino K	婦人科
Eur J Gynecol Oncol 31 (1) 37-43 2010	The incidence, treatment and prognosis of cervical carcinoma in young women: a retrospective analysis of 4,975 cases in Japan.	Kamiura S	婦人科
Cancer Sci 101 (10) 2171-2178 2010. 10	Early reduction of glucose after cisplatin treatment is a marker of cisplatin sensitivity in ovarian cancer.	Miyatake T	婦人科
Int J Clin Oncol 15 (4) 406-412 2010. 8	Endometrial carcinoma: better prognosis for asymptomatic recurrences than for symptomatic cases found by routine follow-up.	Miyatake T	婦人科
Fertil Steril 94 (1) 78-84 2010	A retrospective analysis of ovarian endometriosis during pregnancy.	Miyatake T	婦人科

小計  
12

雑 誌 名	題 名	発 表 者 氏 名	所 属 部 門
Anticancer Res 30 (10) 4347-4352 2010. 10	Disease-free interval after primary treatment predicts prognosis of recurrent endometrial carcinoma.	Miyatake T	婦人科
Jpn J Clin Oncol 41 (3) 320-327 2011. 3	A phase II clinical trial of topotecan in Japanese patients with relapsed ovarian carcinoma.	Kamiura S	婦人科
Arch Gynecol Obstet 2011. 2	Usefulness of computed tomography in predicting cytoreductive surgical outcomes for ovarian cancer.	Fujiwara K	婦人科
J Obstet Gynaecol 31 (2) 196-197 2011	Bladder cancer co-existing with ovarian cancer coincidentally detected by transvaginal ultrasonography.	Yoshino K	婦人科
J Obstet Gynaecol 31 (3) 274-275 2011	A rare case of ovarian carcinosarcoma successfully treated with the neoadjuvant chemotherapy of paclitaxel and ifosfamide.	Okazaawa M	婦人科
Gynecol Oncol 120 (1) 94-100 2011. 1	Postoperative whole pelvic radiotherapy plus concurrent chemotherapy versus extended-field irradiation for early-stage cervical cancer patients with multiple pelvic lymph node metastases.	Okazaawa M	婦人科
Cancer Chemother Pharmacol 2011. 3	Chemotherapy for endometrial carcinoma (GOGO-EM1 study): TEC (paclitaxel, epirubicin, and carboplatin) is an effective remission-induction and adjuvant therapy.	Miyatake T	婦人科
Cancer Sci. 101 (8) :1897-1904, 2010	5 $\alpha$ DH-DOC (5 $\alpha$ -dihydro-deoxycorticosterone) activates androgen receptor in castration-resistant prostate cancer	Nishimura K	泌尿器科
Clin Cancer Res. 17 (8) :2561-2569, 2010	Excision repair cross-complementing group 1 may predict the efficacy of chemoradiation therapy for muscle-	Nakayama M	泌尿器科
Jpn J Clin Oncol. 41 (2) :253-259, 2011	Retrospective analysis of an oral combination of dexamethasone, uracil plus tegafur and cyclophosphamide for hormone-refractory prostate cancer	Nishimura K	泌尿器科
Jpn J Clin Oncol. 2010 Oct;40 (10) :938-43	Significance of endoscopic screening and endoscopic resection for esophageal cancer in patients with hypopharyngeal cancer.	Morimoto M	放射線治療科

小計

11

雑 誌 名	題 名	発 表 者 氏 名	所 属 部 門
Int J Radiat Oncol Biol Phys. 2010 Jul 1;77 (3) :758-64.	Rectal dose and source strength of the high-dose-rate iridium-192 both affect late rectal bleeding after intracavitary radiation therapy for uterine cervical carcinoma.	Suzuki O	放射線治療科
Ann Clin Biochem 47: 39-43, 2010	Glycated albumin levels are higher relative to glycated haemoglobin levels in gastrectomized subjects.	Mukai M	循環器内科
Diabetes Care 33: 270-272, 2010	Glycated albumin and glycated hemoglobin are differently influenced by endogeneous insulin secretion in patients with type 2 diabetes mellitus.	Mukai M	循環器内科
Acta Diabetol 2010: 47 (Supple1) : 65-69.	Influence of iron metabolism indices on glycated haemoglobin but not glycated albumin levels in premenopausal women.	Mukai M	循環器内科
Clinical Biochemistry 2010, 43: 1023-1025.	Serum glycated albumin levels, but not glycated hemoglobin, is low in relation to glycemia in non-diabetic men with nonalcoholic fatty liver disease with high alanine aminotransferase levels.	Mukai M	循環器内科
Acta Diabetol DOI: 10.1007/s00592-009-0168-6 2010 47 ; 173-177.	Serum glycated albumin, but not glycated hemoglobin, is low in relation to glycemia in hyperuricemic men.	Mukai M	循環器内科
Clinical Biochemistry 2010, 43: 1265-1267.	Serum 1,5-anhydroglucitol levels in patients with fulminant type 1 diabetes are lower than those in patients with type 2 diabetes	Mukai M	循環器内科
Ann Clin Biochem. DOI: 10.1258/acb.2010.010053	1,5-Anhydroglucitol levels are low irrespective of plasma glucose levels in patients with chronic liver disease.	Mukai M	循環器内科
Diabetes Res Clin Pract. 2010 90 (1) :122-5. Epub 2010 Jul 14.	Habitual intake of dairy products influences serum 1,5-anhydroglucitol levels independently of plasma glucose.	Mukai M	循環器内科
Magn. Reson. Med. Sci, 2010; 9: 227-231	Solitary Plasmacytoma of the Sternum Detected Incidentally by MR Imaging of the Cervical Spine	Nakanishi K	放射線診断科
Journal of Magnetic Resonance Imaging (33) 167-172 2010	Clinical utility of apparent Diffusion Coefficient (ADC) value in patients with prostate cancer: Can ADC value contribute to assess the aggressiveness of prostate cancer?	Ito Y	放射線診断科

小計

11

雑 誌 名	題 名	発 表 者 氏 名	所 属 部 門
European Journal of Radiology Extra. 74:e1-e3 (2010) elseiver	Renal angio lipoma with pseudo capsule mimicking renal cell carcinoma	Itou Y	放射線診断科
J Nucl Med. 2010;51:1549-1558.	Complementary roles of whole-body diffusion-weighted MRI and 18F-FDG PET: the state of the art and potential applications.	Nakanishi K	放射線診断科
Acad Radiol. 2010 Oct;17(10):1259-66.	Adaptive statistical iterative reconstruction technique for pulmonary CT: image quality of the cadaveric lung on standard- and reduced-dose CT.	Inoue A	放射線診断科
Clin Nucl Med. 2010 Mar;35(3):192-3.	FDG PET-CT evaluation of granular cell tumor of the soft tissue.	Nakanishi K	放射線診断科
Diagn Pathol. 2010 May;5:34	Early uptake and continuous accumulation of thallium-201 chloride in a benign mixed tumor of soft tissue: Case Report.	Nagata S	病理・細胞診断科
Eur J Orthop Traumatol 2010 Apr;20:233-235	Chondrosarcoma of the hand: radiologic evaluation at the early stage	Tomita Y	病理・細胞診断科
J Gastroenterol Hepatol 2010 Aug;25:1410-1405	Significance of each narrow-band imaging finding in diagnosing squamous mucosal high-grade neoplasia of the esophagus.	Tomita Y	病理・細胞診断科
Surg. Endosc 2011	Laparoscopic detection of sentinel node in gastric cancer surgery by indocyanine green fluorescence imaging.	Tomita Y	病理・細胞診断科
Cancer Epidemiol Biomarkers Prev. 20(1):160-171 (2010)	Reduced plasma level of CXCL chemokine ligand 7 in patients with pancreatic cancer.	Ioka T	検診部
Cancer Sci. 102(3):630-638 (2010)	Plasma biomarker discovery and validation for colorectal cancer by quantitative shotgun mass spectrometry and protein microarray.	Ioka T	検診部
Cancer Sic. 102(2):425-431 (2011)	Phase II study of erlotinib plus gemcitabine in Japanese patients with unresectable pancreatic cancer.	Ioka T	検診部
J Viral Hepat. 17(10):742-8, 2010	Risk factors for intrahepatic cholangiocarcinoma: a possible role of hepatitis B virus.	Tanaka M	がん予防情報センター
Jpn J Clin Oncol. 41(2):291-294, 2011	Trends in the Incidence of Primary Intracranial Tumors in Osaka, Japan.	Nomura E	がん予防情報センター

小計

13

雑 誌 名	題 名	発 表 者 氏 名	所 属 部 門
Journal of Epidemiology 2011 (3) : in press	Hepatitis B and C virus infection and hepatocellular carcinoma in China: Review on the epidemiology and control measures Journal of Epidemiology 2011 (3) : in press	Tanaka M	がん予防情報セ ンター
J Epidemiol. 2010 [Epub ahead of print]	Long-Term Prospective Study of 6104 Survivors of Arsenic Poisoning During Infancy Due to Contaminated Milk Powder in 1955.	Tsukuma H	がん予防情報セ ンター
Radiology. 254 (3) : 965- 72, 2010	Slight dilatation of the main pancreatic duct and presence of pancreatic cysts as predictive signs of pancreatic cancer: a prospective study.	Tsukuma H	がん予防情報セ ンター
Jpn J Clin Oncol. 41 (1) : 40-51, 2011	Population-based survival of cancer patients diagnosed between 1993 and 1999 in Japan: a chronological and international comparative study.	Ioka A	がん予防情報セ ンター
Cancer Sci. 101 (3) : 787- 92, 2010	Incidence and Survival Trends for Childhood Cancer in Osaka, Japan, 1973-2001.	Ioka A	がん予防情報セ ンター
J Epidemiol. 20 (3) :244- 52, 2010	Use of a population-based cancer registry to calculate twenty-year trends in cancer incidence and mortality in Fukui Prefecture.	Ito Y	がん予防情報セ ンター
Asian Pacific Journal of Cancer Prevention. In press	Comparison of the trends in cancer incidence and mortality in Osaka, Japan, using an age-period-cohort model	Ito Y	がん予防情報セ ンター
Jpn J Clin Oncol 40 (6) : 485-502, 2010	The Japanese guideline for cervical cancer screening.	Nakayama T	がん予防情報セ ンター
Int J Cancer 2011 Mar 21 [Epub ahead of print]	Trends of stomach cancer mortality in eastern Asia in 1950-2004: Comparative study of Japan, Hong Kong, and Singapore using age, period and cohort analysis.	Tanaka M	がん予防情報セ ンター
BMC Cancer 10 , 530, 2010	Genetic and epigenetic characteristics of human multiple hepatocellular carcinoma.	Tniguti K	研究所
BMC Medical Genomics 3, 5, 2010.	Conversion of a molecular classifier obtained by gene expression profiling into a classifier based on real-time PCR: a prognosis predictor for gliomas.	Tniguti K	研究所
Clin Exp Metastasis, 28, 427-435, 2011.	Dynamics of cancer cell subpopulations in primary and metastatic colorectal tumors.	Katoh K	研究所

小計  
12

雑 誌 名	題 名	発 表 者 氏 名	所 属 部 門
Cancer Research, 70, 10213-10223, 2010.	Downregulation of c-MYC protein levels contributes to cancer cell survival under dual deficiency of oxygen and glucose.	Katoh K	研究所
J Biochem 2010, 148, (3), 359-70.	Involvement of ST6Gal I in the biosynthesis of a unique human colon cancer biomarker candidate, alpha2,6-sialylated blood group type 2H (ST2H) antigen.	Miyamoto Y	研究所
Glycobiology 2010, 20, (12), 1594-606.	Novel ganglioside found in adenocarcinoma cells of Lewis-negative patients.	Shida K	研究所
Int. J. Cancer. Epub ahead of print, (2011)	Expression of gangliosides, GD1a and sialyl paragloboside, is regulated by NF- $\kappa$ B-dependent transcriptional control of $\alpha$ 2,3-sialyltransferase I, II and VI in human castration-resistant prostate cancer cells.	Miyamoto Y	研究所
Molecular Medicine REPORTS 2010, 3: 651-656.	Identification of various types of $\alpha$ 2-HS glycoprotein in sera of patients with pancreatic cancer: Possible implication in resistance to protease treatment.	Miyamoto Y	研究所
Cancer Res. 70 (24) :10213-23. 2010	Downregulation of c-MYC protein levels contributes to cancer cell survival under dual deficiency of oxygen and glucose	Okuyama H	研究所
Int J Oncol 36 (2) :313-20. 2010	Talaporfin-mediated photodynamic therapy for peritoneal metastasis of gastric cancer in an in vivo mouse model: drug distribution and efficacy studies	Inoue M	研究所
Circ Res. 106:1731-1742, 2010.	Role of afadin in vascular endothelial growth factor- and sphingosine 1-phosphate-induced angiogenesis.	Miyoshi J	研究所
Proc. Jpn. Acad. Ser. B Phys. Biol. Sci. 86:621-629, 2010	Cell adhesion molecules nectins and associating proteins: Implications for physiology and pathology.	Miyoshi J	研究所
Developmental Dynamics 239 (10) :2558-69, 2010.	Cooperation of nectin-1 and nectin-3 is required for normal ameloblast function and crown shapedevelopment in mouse teeth.	Miyoshi J	研究所
J. Anim. Sci. 88 (10) :3269-79, 2010.	Identification and expression analysis of CX45 and CX60 as major connexins in porcine oocytes.	Miyoshi J	研究所
画像強調観察による内視鏡診断アトラス、p109-p110、2010	AFIによるBarrett食道癌の診断	上堂文也	消化管内科

雑 誌 名	題 名	発 表 者 氏 名	所 属 部 門
画像強調観察による内視鏡 診断アトラス、p157-p158、 2010	NBIによる腸上皮化生の診断	上堂文也	消化管内科
見逃し・誤りを防ぐ`消化 器癌画像診断アトラス、 pp78-89	Equipment-based IEE	上堂文也	消化管内科
見逃し・誤りを防ぐ`消化 器癌画像診断アトラス、 pp64-72	Dye-based IEE	上堂文也	消化管内科
見逃し・誤りを防ぐ`消化 器癌画像診断アトラス、 pp53-58	通常観察	上堂文也	消化管内科
見逃し・誤りを防ぐ`消化 器癌画像診断アトラス pp194-197	潰瘍瘢痕と鑑別が必要な胃癌	上堂文也	消化管内科
見逃し・誤りを防ぐ`消化 器癌画像診断アトラス、 pp191-193	ひ`らんと鑑別が必要な小胃癌	上堂文也	消化管内科
レジデント・コンパス、第3 版	画像強調観察法(色素、NBI、拡大観 察)	上堂文也	消化管内科
消化器内視鏡第23巻1号 pp76-79	私はこうしている画像強調観察法(色素 法、AFI、NBI拡大観察)による早期胃 癌の診断	上堂文也	消化管内科
消化器内視鏡. 22 (4) : 466- 469, 2010	色素内視鏡の基本手技	神崎 洋光	消化管内科
胃と腸. 45 (12) : 1926- 1934, 2010	リンパ球浸潤癌	神崎 洋光	消化管内科
日本医事新報. 4524 : 85- 86, 2011	食道ルゴール法の概要	神崎 洋光	消化管内科
胃と腸 46巻1号 60- 65 (2011. 01)	【多発胃癌 最新の知見を含めて】多 発胃癌の内視鏡診断 autofluorescence imagingによる異時 性多発癌発生のリスク評価	鼻岡 昇	消化管内科
日消誌 107:732-742:2010.	自己免疫性肝炎の新しい国際診断基準 の検証。	今中和穂	肝胆膵内科
亜鉛栄養治療 Vol 1, No 1:26-34, 2010.	肝硬変の窒素代謝異常と亜鉛。	片山和宏	肝胆膵内科
6 (4) : 470-472 (2010) ヴァ ンメディカル	ESMO2010報告. 臨床腫瘍プラクティス	坂井大介	臨床腫瘍科
Digestive Surgery NOW. 10:134-141 (2010. 7) メディ カルビュー社. 東京. 上西	進行胃癌に対する大動脈周囲リンパ節 郭清術	宮代勲	消化器外科
外科治療. 10 (4) : 358- 364 (2010)	胃癌全国登録の現状と展望	宮代勲	消化器外科
癌と化学療法. 37 (12) : 2608-2610 (2010)	広範な側方リンパ節および大動脈周囲 リンパ節転移を有する直腸癌の無再発 長期生存の一例	真貝竜史	消化器外科

雑 誌 名	題 名	発 表 者 氏 名	所 属 部 門
消化器外科. 33 (12) : 1821-1829 (2010)	膵癌術前化学放射線治療の意義	石川治	消化器外科
肝胆膵高難度外科手術 日本肝胆膵外科学会高度技能医制度委員会. 225-233 (2010. 6) (株)医学書院. 東京	膵頭十二指腸切除 A通常型膵管癌	大東弘明	消化器外科
臨床外科. 65 (4) : 502-507 (2010)	[根治性向上]膵癌に対するneoadjuvant chemoradiationの適応と意義	大東弘明	消化器外科
手術. 65 (2) : 269-272 (2011. 2)	肺原発多形癌大腸転移の1例	福田周一	消化器外科
日本臨床外科学会雑誌. 72 (2) : 192-196 (2011. 2)	胸壁転移をきたした膵内分泌腫瘍の1例	福田周一	消化器外科
癌と化学療法. 37 (12) : 2551-2553 (2010)	大腸癌肺転移に定位放射線治療を施行し良好な制御効果が得られた1例	福田周一	消化器外科
外科. 72 (7) : 691-696 (2010)	他臓器浸潤食道癌の治療戦略	矢野雅彦	消化器外科
Jpn. Bronchoesophagol. Soc. 61 (2) : 191-193 (2010)	食道癌術後の嚥下障害	矢野雅彦	消化器外科
医学のあゆみ. 23 (8) : 575 (2010)	食道癌治療の最前線 はじめに	矢野雅彦	消化器外科
外科と代謝. 44 (2) : 141-145 (2010)	グレリン	矢野雅彦	消化器外科
癌の臨床. 55 (10) : 713-718 (2009)	胃がん全国登録データからみた胃がん治療の現状と問題点について	宮代勲	消化器外科
専門医のための呼吸器外科の要点と盲点. 250-260 (2010) 文光堂	肺尖部胸壁浸潤癌 (Parcoast腫瘍) 1) 手術適応 2) アプローチ方法 3) 手術手技	児玉憲	呼吸器外科
胸部外科. 63 (13) : 1136 (2010)	[1枚のシェーマ] 心タンポナーデを合併した浸潤型胸腺腫に対する胸腺腫・胸腺切除、左腕頭静脈合併切除、心嚢合併切除・再建および左上葉部分切除	児玉憲	呼吸器外科
がん地域連携クリティカルパスーがん医療連携とコーディネート機能ー. 74-88 (2101) じほう出版. 東京	都道府県がん診療連携拠点病院の活動ー大阪府ー	東山聖彦	呼吸器外科
日本臨床. 68:691-693, 2010	CA15-3	稲治 英生	乳腺・内分泌外科
乳がん低侵襲医療の新しい動き 小山博記編 医薬ジャーナル社 大阪 32-37, 2010	再発一乳房内再発を中心にー	稲治 英生	乳腺・内分泌外科



雑 誌 名	題 名	発 表 者 氏 名	所 属 部 門
乳癌の臨床 特別号2010 32-38, 2010	外科療法	稲治 英生	乳腺・内分泌外科
乳がん低侵襲医療の新しい動き 小山博記編 医薬ジャーナル社 大阪 pp18-21, 2010	乳房温存療法における診療の流れとインフォームドコンセント	小山博記	乳腺・内分泌外科
臨床腫瘍プラクティス. 6(4):408-409, 2010	転移の見られる乳がんへの対応-脳転移へのアプローチ その方法は? 標準的治療選択の流れ	中原 早紀	乳腺・内分泌外科
中山書店、東京、p. 249-268, 2010	転移性腫瘍の画像診断の進め方; 運動器画像診断マスターガイド.	荒木信人	整形外科
医学書院、東京、212頁、2010.	脂肪肉腫、今日の整形外科治療指針.	荒木信人	整形外科
中部日本整形外科災害外科学会雑誌(0008-9443)53巻4号 Page933-934(2010.07)	術中体外照射処理自家骨幹骨に対する人工骨幹を用いたサルベージ手術	大森信介,	整形外科
中部日本整形外科災害外科学会雑誌(0008-9443)53巻3号 Page671-672(2010.05)	手関節・前腕部の軟部組織悪性腫瘍に対する術中体外照射腫による腫再建術について	大森信介,	整形外科
臨床整形外科(0557-0433)45巻7号 Page625-629(2010.07)	転移性大腿骨骨幹部骨腫瘍に対する人工骨幹置換の有用性	濱田健一郎,	整形外科
臨床整形外科61(8)720-726	融合遺伝子SS18-SSXの機能抑制と滑膜肉腫起源細胞の同定 -滑膜肉腫分子標的療法への展開-	中 紀文	整形外科
整形外科臨床パサージュ 6, 軟部腫瘍プラクティカルガイド50-61	軟部腫瘍を呈する非腫瘍性疾患	中 紀文	整形外科
癌と化学療法(0385-0684)38巻3号 Page385-388(2011.03)	Musculoskeletal Tumor 骨・軟部腫瘍骨盤に発生した悪性骨腫瘍の治療 切除、放射線治療後の長期成績と問題点(解説)	荒木信人	整形外科
中部日本整形外科災害外科学会雑誌(0008-9443)54巻1号 Page77-78(2011.01)	下肢に発生した転移性骨腫瘍に対する手術療法	濱田健一郎	整形外科
中部日本整形外科災害外科学会雑誌(0008-9443)54巻1号 Page75-76(2011.01)	骨盤発生軟骨肉腫の治療成績の検討	村田洋一	整形外科
中部日本整形外科災害外科学会雑誌(0008-9443)53巻6号 Page1285-1286(2010.11)	軟部肉腫肺転移切除例の予後因子の検討	城山晋	整形外科
整形・災害外科(0387-4095)53巻12号 Page1344-1345(2010.11)	分子レベルからみた整形外科疾患(シリーズVIII) 骨・軟部腫瘍の転移に関する新規標的分子SSX(解説)	中紀文	整形外科
産婦の進歩 62(3)264-265 2010.8	婦人科癌精査・経過観察中に発見された多部位の悪性腫瘍	三好愛	婦人科
Urology Today. 17(4):32-35, 2010	実践マニュアル 去勢抵抗性前立腺癌に対するドセタキセルによる治療戦略	西村 和郎	泌尿器科

雑 誌 名	題 名	発 表 者 氏 名	所 属 部 門
日本臨牀 前立腺癌 (第2版) -基礎・臨床研究のアップデート-. 69巻 増刊号5: 507-510, 2011	臨床 前立腺癌の治療 内分泌療法 内分泌療法の新展開 デキサメタゾン療法	西村 和郎	泌尿器科
日本臨牀 腎・泌尿器癌-基礎・臨床研究のアップデート-. 68巻 増刊号4: 481-484, 2010	精巣癌 臨床研究 診断と分類 腫瘍マーカー	垣本 健一	泌尿器科
泌尿器外科. 23 (10) : 1419-1423, 2010	EAU/AUA/ASCOにおける泌尿器腫瘍のトピックス・進歩2010 -精巣癌-	垣本 健一	泌尿器科
JOHNS 27 (4) : 597-600, 2011	頭頸部癌における集学的治療-喉頭癌-	藤井隆	耳鼻咽喉科
日耳鼻. 113 (12) : 882-888, 2010	わが国における頭頸部癌診療をどのように構築すべきか-大阪府のがん診療連携体制をもとに-	吉野邦俊	耳鼻咽喉科
耳鼻咽喉科・頭頸部外科研修ノート山唄達也、小川都、鈴木衛、丹生健一、久育男、森山寛397-401 (2011)	耳鼻咽喉科・咽頭部外科研修ノート咽頭癌に対する手術	藤井隆	耳鼻咽喉科
日本耳鼻咽喉科学会専門医通信 105:18-19, 2010	頭頸部癌の予防と禁煙・節酒.	吉野邦俊	耳鼻咽喉科
JOHNS 26 (2) : 209-213, 2010	唾液腺腫瘍の治療における問題点 粘表皮癌の治療方針は	鈴木基之	耳鼻咽喉科
耳喉頭 82 (9) : 597-602, 2010	嗅神経芽細胞腫 1 3 例の臨床的検討	吉野邦俊	耳鼻咽喉科
肺癌. 51 (2) : 127-130, 2011	緩和ケアの秘訣と心得-精神科医の立場から-	柏木雄次郎	心療・緩和科
人間ドック学会誌 2010. 24 : 40-44.	2型糖尿病患者において血清尿酸値は、血清1・5-アンヒドログルシトール値と正の相関する	向井幹夫	循環器内科
J of Metabolic Syndrome 2009, 6:2-9.	血清尿酸値は血清グリコアルブミンに対する負の調節因子である	向井幹夫	循環器内科
Osteoporosis Japan 2010, 18:452-454	正常呼吸機能例において肺活量と骨密度は正相関する	向井幹夫	循環器内科
日本呼吸器学会雑誌2010, 48 : 127, 2010.	呼吸機能と骨密度の関連-特に正常呼吸機能例における解析-	向井幹夫	循環器内科
成人病と生活習慣病 2010: 40: 564.	DM患者へのPaclitaxel-eluting stentの有効性をSirolimus-eluting stentと比較検討	安藤友孝	循環器内科
胸部外科64巻3号 202-205. 2011	右側大動脈弓に合併した左鎖骨下動脈瘤と左肺癌に対して一期的手術を行った一例	平石泰三	心臓血管外科
日本磁気共鳴医学会雑誌. 2010; 30: 82-89	SENSE Stepping-Table MRI 法の考案	中西克之	放射線診断科

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
消化器内視鏡 2010. 7月 22 : 1087-1092	膵・胆道領域の検体取扱いについて	長田盛典	病理・細胞診断科
日本消化器がん検診学会雑誌. 48 (3) : 337-343 (2010. 5)	膵がん対策として今、何ができるのか	田中幸子	検診部
4499 : 89 (2010. 7) 日本医事新報	超音波に対する思い入れのつまった入門書 (できるゾ読めるゾ腹部エコー)	田中幸子	検診部
日経メディカル. 2010冬号. 135-136 (2010. 11)	メディクイズ 腹部エコー	田中幸子	検診部
肝胆膵. 62 (3) : 519-524 (2011. 3)	膵癌高危険群としての膵のう胞、主膵管拡張	田中幸子	検診部
治療. 93 : 920-922 (2011)	がん診療サポートガイド ; 膵がん	井岡達也	検診部
膵癌診療ポケットガイド. 180-186. 医学書院	局所進行膵癌に対する化学放射線療法	井岡達也	検診部
腫瘍内科. 7 (2) : 169-173 (2011. 2)	切除不能局所進行膵がんに対する治療選択 : 最近の動向	井岡達也	検診部
Jpn. J Med Ultrasonics. 38 (2) : 119-127 (2011. 2)	多重ロジスティック回帰分析による非ホジキンリンパ腫の表在リンパ節再発超音波所見の検討	吉岡二三	検診部
日本消化器病学会雑誌. 107 (7) 1109-1126 (2010)	胆管癌診療の現状と課題	井岡達也	検診部
Pharma Medica. 28 (10) : 35-39 (2010. 10)	消化器画像診断—最近の進歩「膵腫瘍に対する造影超音波」	高倉玲奈	検診部
肝胆膵 60 (3) : 447-455 (2010)	膵臓疾患に対する造影超音波 : 通常型膵癌	高倉玲奈	検診部
超音波医学 38 (1) : 19-24 (2011)	長期経過観察中に画像所見の変化を認めた膵粘液性嚢胞腫瘍の1例	福田順子	検診部
麻酔. 59 (7) : 926-929, 2010	担癌患者の周術期肺血栓塞栓症予防対策	日生下由紀	中央手術科
麻酔. 59 (8) : 985-988, 2010	拍動法による内頸静脈穿刺	谷上博信	中央手術科
麻酔. 59 (8) : 989-993, 2010	喉頭微細手術におけるレミフェンタニル麻酔とフェンタニル麻酔の比較	谷上博信	中央手術科
麻酔. 60 (2) : 180-185, 2011	術前禁煙は消化器外科手術での手術部位感染発生頻度を減少させない	谷上博信	中央手術科
日本臨床2011;69:45-50.	大腸癌の疫学—国際比較—	津熊秀明,	がん予防情報センター

雑 誌 名	題 名	発 表 者 氏 名	所 属 部 門
日本公衆衛生雑誌 2010. 04 57 (4) : 263-270.	がん医療集約化による死亡率減少効果 の試算 福井県地域がん登録データか らの解析	井岡亜希子	がん予防情報セ ンター
厚生指標 2010. 01 (0452- 6104) 57巻1号 Page28-35.	大阪府におけるがん患者受療動態およ び地域別生存率の検討 :	伊藤ゆり	がん予防情報セ ンター
大腸癌FRONTIER. 3 (4) : 26- 34, 2010	世界の大腸癌の罹患・死亡の動向.	田中政宏	がん予防情報セ ンター
癌の臨床 2010 : 56 (1) : 63-69.	癌専門医療機関におけるセカンド・オ ピニオン質的調査	田中政宏	がん予防情報セ ンター
医療経済研究 2010 : 22 : 5-29.	予防接種 : 公衆衛生事業としての意義 とわが国の課題	田中政宏	がん予防情報セ ンター
厚生指標 2010 : 57 (12) : 17-25	早期乳幼児の麻疹ワクチン接種率に関 連する因子	田中政宏	がん予防情報セ ンター
大腸癌FRONTIER. 3 (4) : 318-323, 2010	地域がん登録資料に基づく世界各国の 大腸癌患者の生存率の比較	伊藤ゆり	がん予防情報セ ンター
JACR Monograph. 15: 44- 45, 2010	大阪府がん登録資料を用いたperiod analysisの適用と評価—最新の情報を 反映した生存率推計方法—	伊藤ゆり	がん予防情報セ ンター
がん転移 臨床と研究の羅 針盤、細胞工学別冊 : 192- 5, 2010	低酸素と血管新生阻害療法抵抗性	井上正宏	研究所
日本クリティカルケア看護 学会誌. 6 (1) : 26-33, 2010	手術室看護師の術前訪問の苦手意識に 関連する要因	吉川 有葵	看護部

小計  
10  
計  
218

(注) 1 当該医療機関に所属する医師等が、掲載に当たって内容審査を行っている雑誌に研究成果を原著論文として申請の前年度に発表したもののうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断されるものを100件以上記入すること。(当該医療機関に所属する医師等が主たる研究者であるものに限る。)

2 「発表者氏名」欄は、1つの論文発表について発表者が複数いる場合には、主たる発表者の氏名を記入すること。

## 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の管理方法

管理責任者氏名	病院長 石川 治
管理担当者氏名	総務人事マネージャー 三浦剛、経営企画マネージャー 山形三津留、薬局長 榎喜恵、医療情報主任部長 松永隆、放射線診断科主任部長 中西克之

		保管場所	管理方法	
診療に関する諸記録 病院日誌、各科診療日誌、処方せん、手術記録、看護記録、検査所見記録、エックス線写真、紹介状、退院した患者に係る入院期間中の診療経過の要約及び入院診療計画書		医療情報部、中央手術室、看護部、放射線診断科、各診療科、病歴管理室	カルテ等病歴資料は、外来・入院別に患者一カルテ方式とし、一つのID番号により病歴管理室（紙カルテ）及び電子カルテで集中管理を行っている。 エックス線写真は、放射線診断科で集中保管している。	
病院の管理及び運営に関する諸記録	従業者数を明らかにする帳簿	総務人事G	人事管理システムで保管	
	高度の医療の実績	医療情報部	コンピュータ管理他	
	高度の医療技術の開発及び評価の実績	総務人事G	年度毎にファイルに綴じて保管	
	高度の医療の研修の実績	総務人事G	年度毎にファイルに綴じて保管	
	閲覧実績	医事G	年度毎にファイルに綴じて保管	
	紹介患者に対する医療提供の実績	医事G	地域連携情報をファイルに綴じて保管	
	入院患者数、外来患者数及び調剤の数を明らかにする帳簿	経営企画G 薬局	診療情報をファイルに綴じて保管 調剤情報をファイルに綴じて保管	
	項規 第一 第一 号に 掲げ る一 体第 一 項各 号の 及び 第九 条の 二十三 第一	医療に係る安全管理のための指針の整備状況	医療安全管理部門	ファイルに綴じて保管
		医療に係る安全管理のための委員会の開催状況	医療安全管理部門	年度毎にファイルに綴じて保管
		医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	医療安全管理部門	年度毎にファイルに綴じて保管
医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の状況		医療安全管理部門	年度毎にファイルに綴じて保管	
専任の医療に係る安全管理を行う者の配置状況		医療安全管理部門		
専任の院内感染対策を行う者の配置状況		感染対策室		
医療に係る安全管理を行う部門の設置状況		医療安全管理部門		
当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況		患者総合相談室		

		保管場所	管理方法
病院の管理及び諸記録の管理に関する諸記録	規則第一条の十一第一項各号及び第九条の二十三第一項第一号に掲げる体制の確保の状況	院内感染対策のための指針の策定状況	感染対策室 ファイルに綴じて保管
		院内感染対策のための委員会の開催状況	感染対策室 年度毎にファイルに綴じて保管
		従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	感染対策室 年度毎にファイルに綴じて保管
		感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の実施状況	感染対策室
		医薬品の使用に係る安全な管理のための責任者の配置状況	薬局及び全部門
		従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	薬局 年度毎にファイルに綴じて保管
		医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	薬局 年度毎にファイルに綴じて保管
		医薬品の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	薬局 年度毎にファイルに綴じて保管
		医療機器の安全使用のための責任者の配置状況	泌尿器科部長室
		従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	C E 室 年度毎にファイルに綴じて保管
		医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	C E 室 年度毎にファイルに綴じて保管
		医療機器の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	C E 室 年度毎にファイルに綴じて保管

(注) 「診療に関する諸記録」欄には、個々の記録について記入する必要はなく、全体としての管理方法の概略を記入すること。

(様式13)

病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法及び  
紹介患者に対する医療提供の実績

○ 病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法

閲覧責任者氏名	病院長 石川 治
閲覧担当者氏名	医療情報部主任部長 松永 隆、医事リーダー 牧野 智香
閲覧の求めに応じる場所	(窓口) 医事グループ (閲覧場所) 医療情報部

○ 病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧の実績

前年度の総閲覧件数	延	0件
閲覧者別	医師	延 件
	歯科医師	延 件
	国	延 件
	地方公共団体	延 件

○ 紹介患者に対する医療提供の実績

紹介率	95.3 %	算定期間	平成22年4月1日 ~ 平成23年3月31日
算出根拠	A: 紹介患者の数	6,565人	
	B: 他の病院又は診療所に紹介した患者の数	11,837人	
	C: 救急用自動車によって搬入された患者の数	0人	
	D: 初診の患者の数	7,479人	

- (注) 1 「紹介率」欄は、A、B、Cの和をBとDの和で除した数に100を乗じて小数点以下第1位まで記入すること。
- 2 A、B、C、Dは、それぞれの延数を記入すること。

## 規則第1条の11第1項各号及び第9条の23第1項各号に掲げる体制の確保の状況

① 医療に係る安全管理のための指針の整備状況	有 ・ 無
<ul style="list-style-type: none"> <li>指針の主な内容： 医療安全管理体制、医療安全研修に関する基本方針、インシデント報告、医療事故発生時の対応、医療従事者と患者の情報共有、患者からの相談への対応、医療安全マニュアルの作成更新、医療安全管理に関する指針の公開</li> </ul>	
② 医療に係る安全管理のための委員会の開催状況	年 13 回
<ul style="list-style-type: none"> <li>活動の主な内容： 医療事故調査委員会・医療事故対策本部・医療支援チームの設置、医療事故・インシデント等が発生した場合の情報収集及び患者等への対応、重大な医療事故発生時の速やかな救命治療活動及び発生原因の分析、再発防止策の立案・調査・見直し、医療安全管理マニュアルの作成・見直し、医療安全に関する職員の教育・研修の企画・運営・評価、指導の徹底と事故発生時の監視、医薬品に係る安全管理、医療機器</li> </ul>	
③ 医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	年 8 回
<ul style="list-style-type: none"> <li>研修の主な内容： 新インシデント入力システム、院内暴力対応、メディエーション研修、腹腔鏡下手術器具に関する研修会、赤外線コール説明会、医療コンフリクトマネジメントの基本、BLS研修、医療機器取り扱い等研修会、病棟婦研修、クラーク研修など</li> </ul>	
④ 医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の状況	
<ul style="list-style-type: none"> <li>医療機関内における事故報告等の整備 (有 ・ 無)</li> <li>その他の改善のための方策の主な内容： インシデント入力システムの変更に伴う操作の周知、心電図モニター・ナースコール・PHS連動システムの使用状況確認、院内掲示板の掲載内容更新・追加、外科外来救急カートの整備、外科系外来2か所の一次蘇生対応物品整備、赤外線離床センサーの導入</li> </ul>	
⑤ 専任の医療に係る安全管理を行う者の配置状況	有 ( 1 名 ) ・ 無
⑥ 専任の院内感染対策を行う者の配置状況	有 ( 1 名 ) ・ 無
⑦ 医療に係る安全管理を行う部門の設置状況	有 ・ 無
<ul style="list-style-type: none"> <li>所属職員： 専任 ( 1 ) 名 兼任 ( 9 ) 名 非常勤 ( 2 ) 名</li> <li>活動の主な内容： インシデント報告書の分析、再発防止策の策定及び部署での確認周知、医療安全管理委員会事務局、医療審議委員会事務局、担当医療安全管理者会議の運営、医療安全研修の企画実施、医療事故発生時の現場対応及び指導、医療安全にかかる連絡調整</li> </ul>	
⑧ 当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に対応される体制の確保状況	有 ・ 無



## 院内感染対策のための体制の確保に係る措置

① 院内感染対策のための指針の策定状況	① 有 ・ 無
<ul style="list-style-type: none"> <li>指針の主な内容： 院内感染防止に係る基本的な考え方、委員会等組織に関する基本的事項、職員研修に関する基本方針、院内感染報告制度、院内感染発生時の対応、指針の公開</li> </ul>	
② 院内感染のための委員会の開催状況	年 12 回
<ul style="list-style-type: none"> <li>活動の主な内容： 細菌分離状況および耐性菌発生状況の把握、サーベイランスデータ報告（手術部位感染、血管内留置関連血流感染、メチシリン耐性黄色ブドウ球菌、多剤耐性緑膿菌、ペニシリン耐性肺炎球菌、バンコマイシン耐性腸球菌、バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌）の把握、重症感染症発生状況の把握、抗MRSA薬・カルバペネム系抗生剤使用状況の把握、アウトブレイク発生時の指揮指導および改善策の実施状況の調査と見直し、マニュアル策定及び改訂</li> </ul>	
③ 従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	年 26 回
<ul style="list-style-type: none"> <li>研修の主な内容： 標準予防策、適切な防護具の着脱の演習、手洗い演習、安全機能付き翼状針・留置針の取り扱いの演習、マニュアルの読み合わせ、インフルエンザワクチン接種について、MRSA対策、N95微粒子用マスクの装着演習、カテーテル関連尿路感染予防について、結核診断・検査・標準治療について</li> </ul>	
④ 感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の状況	
<ul style="list-style-type: none"> <li>病院における発生状況の報告等の整備 ( ④ 有 ・ 無 )</li> <li>その他の改善のための方策の主な内容： 電子カルテ導入に伴う感染管理システムの立ち上げ</li> </ul>	

## 医薬品に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医薬品の使用に係る安全な管理のための責任者の配置状況	○有 ・ 無
② 従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	年 2 回
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 研修の主な内容： 閉鎖性注射調整器具の有用性について 結核の診断・検査・標準治療</li> </ul>	
③ 医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 手順書の作成 (○有 ・ 無)</li> <li>・ 業務の主な内容： 医薬品の採用・購入、調剤室・外来及び入院部門における医薬品の管理、患者への医薬品の使用、臨床検査・画像診断部門における医薬品の使用、他施設との連携、事故発生時の対応、教育・研修</li> </ul>	
④ 医薬品の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 医薬品に係る情報の収集の整備 (○有 ・ 無)</li> <li>・ その他の改善のための方策の主な内容： 医薬品安全管理責任者は、医療安全部門と連携し、すべてのインシデント報告を受けている。その中から医薬品安全使用に関わるインシデントについて、医薬品安全管理委員会や医療安全担当者会議などで改善策を検討し実施している。</li> </ul>	

## 医療機器に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医療機器の安全使用のための責任者の配置状況	有 ・ 無
② 従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	年 12 回
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 研修の主な内容： 除細動器を含むBLS(一次救命処置)、MRI検査の安全性、人工呼吸器、血液浄化装置など生命維持管理装置や基本的な医療機器である輸液、シリンジポンプ等の使用・点検方法</li> </ul>	
③ 医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 計画の作成 (有 ・ 無)</li> <li>・ 保守点検の主な内容： 人工心肺装置・補助循環装置、人工呼吸器、血液浄化装置、除細動器、診療用高エネルギー放射線発生装置、診療用放射線照射装置について実施した。</li> </ul>	
④ 医療機器の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 医療機器に係る情報の収集の整備 (有 ・ 無)</li> <li>・ その他の改善のための方策の主な内容： 医薬品医療機器総合機構から出される「医薬品医療機器等安全性情報」から情報を得ている。不具合のあった医療機器は厚生労働省に報告した。</li> </ul>	